

# 昭和大学新聞

学校法人 昭和大学  
発行人 小口勝司  
電話 (3784) 8000 〒142-8555  
東京都品川区旗の台1の5の8  
1部 50円 毎月1回発行

## 2月号の内容

- 1面
  - 職員2名がアイスホッケー女子日本代表として北京五輪に出場
  - 多摩美術大学理事長が表敬訪問
  - 第8回 昭和上條医療賞授賞式
- 2面
  - 保健医療学部 白衣授与式
  - 昭和大学病院PCRセンターが行った新型コロナウイルス感染症に関する研究成果が英学会誌に掲載
  - 緒方浩顕教授らの研究成果が世界4大医学雑誌「JAMA」に掲載
  - 歯科補綴学講座の研究チームが特許取得
  - 看護専門学校一般選抜入試1期結果
- 3面
  - 富士吉田キャンパスの思い出
  - 富士吉田キャンパス退寮式
  - 東京オリパラ組織委員会より感謝状が贈呈
- 4面
  - 四宮寛大さん(歯学部5年生)がJoseph Lister Awardを受賞
  - 薬学研究科落合翔さんらの共同研究グループが出血性膀胱炎の新たな発症機構を解明
  - 就任のお知らせ
  - 医学部同窓会学術研究助成募集のお知らせ
  - 昭和大学リカレントカレッジ春季プログラム受講者募集
  - 昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
  - 昭和大学各附属病院へのご支援の御礼

## 【問合せ先】

【本紙について：総務課大学広報係】  
03-3784-8059  
press@ofc.showa-u.ac.jp

【各種募金・寄付について：企画課】  
03-3784-8387

【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】  
03-3784-8022 (旗の台)  
0555-22-4403 (富士吉田)  
045-985-6503 (横浜)  
03-3784-8026 (入学支援課)

## 職員2名が北京五輪に出場

## アイスホッケー女子日本代表

日本アイスホッケー連盟は12月26日、北京冬季五輪に出場する女子日本代表「スマイルジャパン」の内定メンバー23人を発表し、本学からは総務部の藤本もえこ、獅子内美帆が選出された。

本学職員である飯塚祐司監督は、オンライン会見で「北京では過去2大会達成できていない予選リーグ突破を一つの目標としている。」



活躍が期待される獅子内選手(左)と藤本選手(右)

## 多摩美術大学理事長が

## 本学に表敬訪問

学校法人多摩美術大学八王子キャンパスで行われた新型コロナウイルスワクチン接種接合への本学職員派遣に対し、11月16日、小口勝司理事長が学校法人多摩美術大学青柳正規理事長の表敬訪問を受けた。

青柳理事長から感謝の言葉をいただき、ともに、今回接種を受けた多摩美術大学の学生から昭和大学に寄せられた300件を超える御礼の言葉



笑顔でメッセージボードを掲げる青柳理事長(左)と小口理事長(右)

## 第8回 昭和上條医療賞授賞式

## 昭和大学医学・医療振興財団

公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団(理事長・山元俊憲)が行う顕彰事業「昭和上條医療賞」の授賞式が12月20日、上條記念館で執り行われた。

同財団は、医学・医療に関連する領域の教育・研究・医療の実践者に対する支援事業を行うことにより、国民の健康増進に貢献することを目的に、平成25年4月に設立された。

その主要事業である顕彰事業「昭和上條医療賞」は、対象を地域保健医療貢献部門と医療人育成部門とし、それぞれ創造的かつ先駆的諸活動を行い、大きな成果をあげた個人またはグループを顕彰する。昨今は、助成を条件として特定の分野に限って顕彰する形式の事業が一般的となっており、国民の健康増進と医学・医療の発展に貢献する取組みを広く対象として顕彰しており、同財団の理念を体現した特色といえる。

今年度は応募総数14件の中から、地域保健医療貢献部門2件、医療人育成部門1件が選ばれ、木内祐二選考委員からの審査報告の後、山元理事長から表彰状と記念メダル、副賞が授与された。式後には各受賞者による報告会が行われた。



授賞式後、3名の受賞者を囲み全員での記念撮影

## 「昭和上條医療賞」受賞者

### ■地域保健医療貢献部門：2件



松戸市医師会健康啓発委員会  
代表 市場 卓氏  
(松戸市医師会 理事) 千葉県松戸市

### 「まちっこプロジェクト 子供たちの力で地域はもっとつながりあえる」

#### 【主な活動内容・選考理由】

松戸市医師会の「まちっこプロジェクト」として、地域の多職種や行政とも連携し、小中学校の健康教育授業を行うことで、周囲の大人の健康意識も向上させる試みに取り組んだ。「認知症」「感染症」などをテーマとした授業を受ける生徒数は年々増え、小中学生の認知症サポーターも多数養成されている。その結果、保護者の健康に対する理解も高まるなど、地域住民の健康意識向上に明らかな効果が認められており、これらの活動と業績を高く評価した。



登米NPプロジェクト  
代表 住友 和弘氏  
(東北医科薬科大学 准教授) 宮城県登米市

### 「診療看護師による医療過疎地域における在宅医療支援」

#### 【主な活動内容・選考理由】

医療過疎地域である宮城県登米(とめ)市で、東北医科薬科大学と東北文化学園大学の支援のもと、全国に先駆けて診療看護師を派遣し、在宅患者や老人施設での診療を行った。診療看護師の積極的な活動と適切な医療の実施により、患者や入居者の重症化予防に貢献し、さらに医師や訪問看護師の負担軽減にもつながった。医療過疎地域への診療看護師の派遣の有用性を示したことを高く評価した。

### ■医療人育成部門：1件



山添 淳一氏  
(九州大学病院 講師) 福岡県福岡市

### 「多職種連携の災害医療支援を担う歯科医療人養成プログラム」

#### 【主な活動内容・選考理由】

山添氏自身の災害医療支援の経験から、災害医療支援を担う歯科医療者養成プログラムとして、e-ラーニング形式(計35.5時間)の教育プログラム、「災害口腔医学研修会」でのシミュレーション教育の主催、臨床研修歯科医師の研修プログラム「災害時歯科口腔医療」を構築した。災害時に求められるこのような歯科医療の専門性に目を向けた体系的かつ包括的災害医療人養成プログラムを短期間で作り上げ、指導者として広く人材育成を進めていることを高く評価した。

## 昭和大学上條記念ミュージアム 企画展



### 呼吸を見る 展

SEE YOUR BREATH

～2022年3月22日(火)  
事前予約制(入場無料)

生きることに必要な「呼吸」をインタラクティブ(相互連動)に可視化した、芸術と医療の境界を探る展示です。名画で見るあなたの呼吸をぜひ体感してください。

ご予約はこちらより→



毎週火曜日・金曜日 13:00~15:00 開催

お問合せ 03-3784-8031

## 医学堂書店

品川区  
旗の台  
電話(03)  
3783-9774